

大阪市総合教育センター  
教育振興担当 実践研究グループ  
首席指導主事様

研究コース
B グループ研究B
校園コード (代表者校園の市費コード)
555124

代表者	校園名:	桃園幼稚園
	校園長名:	
	電 話:	
	事務職員名:	
申請者	校園名:	大阪市立桃園幼稚園
	職名・名前:	
	電 話:	

令和8年度「がんばる先生支援事業」申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	B グループ研究B	研究年数	新規研究 (1年目)
2	研究テーマ	豊かな人間性を培い、力強く生きる力を育む			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を項立てして記載してください。</p> <p>◎幼稚園教育要領に、幼稚園教育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して幼稚園教育における育みたい資質・能力である「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力・人間性等」の育成のために「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。と示されている。そこで、幼稚園教育要領「領域」のねらい及び内容に基づく教育活動全体を通して総合的に育成していくことが大切である。そこで心身ともにたくましい幼児を育てるために、全園が一体となった研究体制のもとで課題解決に向けた適切な教育実践を展開していくとともに、教師の資質や指導力の向上を目指し、研究に取り組むことにした。</p> <p>○大阪市立幼稚園全51園で4つの研究部を構成して、幼児の実態と課題をもとに教育実践に取り組むとともに、研究会全体会や研究部会、研究成果発表会を実施して、その内容を実践に生かし、教員の指導力向上を図る。</p> <p>○参考教育課程「世界を拓くになっこ」を活用し、適切な保育計画、保育指導案立案を進め、充実した実践を進める。</p> <p>○教育実践並びに、指導において、「就学前教育カリキュラム」を活用し、「知・徳・体」をバランスよく総合的に育み、生きる力を育成する。</p> <p>○教育や学びがつながるよう、幼稚園教育が小学校以降の生活や学習の基盤となる教育であることを踏まえ、小中学校教育研究会との連携を工夫し、一層の資質向上と幼児期にふさわしい資質・能力の育成に務める。</p>			
4	研究内容	<p>(1)研究内容の詳細 ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>研究の方向性 <b>子どもの主体性、協働性などの育ちを見据えた保育実践を組織的に深めていくこと。また、各園の実践を超えて共同研究として成長できる組織を目指す。</b></p> <p>○各研究部が、幼稚園教育要領や幼児の実態や環境から設定した研究主題を基に教育実践と研究活動を行う。</p> <p>○様々なキャリアの教員が、教育実践について討議することで幼児理解を深める。</p> <p>○状況に応じて、様々な手段を活用して研究部会や専門委員会を充実させる。</p> <p>○各園が自園の教育実践の充実と研究方法を工夫して研究に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1研究部「自ら体を動かして遊ぶことを楽しむ幼児を育てる」</li> <li>・第2研究部「幼稚園教育と小学校教育とのつながりを考える」</li> <li>・第3研究部「幼児が主体的に遊ぶための環境とは —やってみたいと心を動かして遊ぶ姿から—」</li> <li>・保健研究部「幼児期の保健教育を通して、健康に生活しようとする意欲や態度を育む」</li> <li>・実践記録の取り方を学び合う</li> <li>・「世界を拓くになっこ」を活用した保育計画、保育指導案立案や実践の記録</li> <li>・研究保育の実施、参観、研究討議による幼児の姿の丁寧な読み取りによる幼児理解、環境の工夫や教師の教育的意図をもった働きかけの充実</li> <li>・講師による指導助言、講演会等による学びの共有</li> <li>・記録の分析による幼児理解、環境構成や教師の教育的意図をもった働きかけの検討</li> <li>・各園の教育実践や研究活動による教員の知識や技能の獲得、研究集録のまとめ方、発信方法の工夫</li> </ul>			
		(2)継続研究 [2年目] ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する			
		(3)継続研究 [3年目]			

<p>5</p>	<p>活動計画</p>	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p>◎各研究部の年間計画をもとに、各園の専門委員を中心に研究に取り組む。          ○4月：各研究部の研究主題と研究の進め方を協議し、年間計画を立てる。          ○5月～：専門委員会の実施（実践記録の分析、検討）              研究部会の実施（研究主題の共通理解、研究保育と討議、講演会、実技研修会等）          ○6月5日：研究会全体会・講演会「幼保小の架け橋プログラムについて」岐阜聖徳学園大学 教授による講演会・及びオンライン視聴          ○7月～8月：各研究主題に添った研究大会、研修会・オンライン研修等への参加              （参加後、内容の報告及び研究内容に活用）              専門研修の実施          ○7月～11月：他府県への視察出張、研究、保育参観（公開・オンライン等）              （参加後、内容の報告及び研究内容に活用）              専門委員会での研究集録原稿作成              専門委員会での研究成果発表の発表原稿、プレゼンテーション作成              （研究成果について協議）          ○12月11日：研究成果発表（第1、2研究部）              研究発表資料作成（第3、保健研究部）              （研究討議、報告、参加者アンケート）          ○1月：研究集録原稿完成          ○2月～3月：各研究部で今年度のまとめ              （研究集録を資料にして、研究の成果と課題の報告、共有、研究討議）</p> <p>出張を伴う研究会への参加、外部講師を招聘する研修会の実施等、経費執行が必要な取組内容を記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第73回 全国国公立幼稚園・こども園 教育研究協議会（愛知大会）</li> <li>・第74回 全国幼児教育研究大会（群馬大会）</li> </ul>
<p>6</p>	<p>見込まれる成果とその検証方法</p>	<p>(1)継続研究（2年目、3年目）において検証方法の変更の有無を記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 変更しない。      理由</p> <p><input type="checkbox"/> 変更する。</p> <p>(2)大阪市教育振興基本計画に示されている、「<u>子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力</u>」の育成および、「<u>教員の資質や指導力</u>」の向上について、それぞれ見込まれる成果を端的に記載し、その成果について客観的な指標により、必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。（いずれかに☑を入れてください）</p> <p><b>【見込まれる成果1】</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成  <input type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上</p> <p>研究部内での研究保育の参観、研究討議を通して、幼児の遊びの姿の読み取り、環境構成や教師の教育的意図をもった働きかけを具体的にし、実践を進めていくことにより、思考力・表現力・判断力の基礎、学びに向かう力、人間性を培い、主体的に活動する子どもを育成する。</p> <p>《検証方法》          研究成果発表会で参加者にアンケートを実施し、本研究部活動は、子どもたちのどのような力の育成・向上につながっているか。の設問に対して、該当する項目について肯定的な割合を60%以上にする。</p> <p><b>【見込まれる成果2】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成  <input checked="" type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上</p> <p>実践記録をとり、分析や考察をすることより、教員の幼児理解が深まり、個や集団に応じた教育的意図をもった働きかけや環境の工夫が進み、指導力の向上が図られる。</p> <p>《検証方法》          研究成果発表会で参加者全員にアンケートを実施し、本研究活動は「教員のどのような力の向上が図られるか」の設問に対する回答項目、「幼児理解」「教育的意図をもった働きかけ」について肯定的な回答の割合を70%以上にする。</p>

<p>6</p>	<p>見込まれる成果とその検証方法</p>	<p><b>【見込まれる成果3】</b>  <input type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成  <input checked="" type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上                  各研究部の専門委員会において、専門委員を中心に実践記録を再度分析・検討する、討議会の進め方について専門研修を受けるなどすることで、討議を深める力を養うことができる。</p> <p>《検証方法》                  研究成果発表会で参加者全員にアンケートを実施し、本研究活動は「教員のどのような力の向上が図られているか」の設問に対する回答項目、「コミュニケーションスキル」「課題意識」について肯定的な回答の割合を昨年度以上にする。</p> <hr/> <p><b>【見込まれる成果4】</b>  <input type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成  <input checked="" type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上                  講演会や実技研修に参加することにより、新たな知見を得たり、技術を獲得したりして、幼児理解や教育実践に生かすことができる。</p> <p>《検証方法》                  研究成果発表会で参加者全員に実施したアンケートで、本研究活動で、「教員のどのような力の向上が図られているか」の設問に対する回答項目「保育指導力」「教材研究の力」について肯定的な回答をの割合を70%以上にする。</p>						
<p>7</p>	<p>研究成果の共有方法</p>	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日までに必ず行ってください。                  ○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="640 1151 1753 1231"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 8 年 12 月 9 日</td> <td>場所</td> <td>大阪市総合教育センター</td> </tr> </table> <p>◆【必須】 waku<sup>x</sup>2.com-bee掲載による共有                  ○掲載の日程（予定）</p> <table border="1" data-bbox="640 1320 1260 1400"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 8 年 12 月 16 日</td> </tr> </table> <p>◆他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和 8 年 12 月 9 日	場所	大阪市総合教育センター	日程	令和 8 年 12 月 16 日
日程	令和 8 年 12 月 9 日	場所	大阪市総合教育センター					
日程	令和 8 年 12 月 16 日							
<p>8</p>	<p>代表校園長のコメント</p>	<p>1. 新規研究（1年目）                  大阪市立幼稚園、全51園の教諭、養護教諭が、幼児の豊かな人間性を力強く生きる力、幼稚園教育において育みたい資質・能力を育むために、幼児理解に努め、教育実践を積み重ねます。幼児一人一人の思いや考えに寄り添って信頼関係を構築し、安心して自己発揮できるような教育活動を推進していくことで、自己肯定感を育めるように、また、主体的に活動する幼児の育成に努めます。自らの保育の実践を分析して振り返り改善していくこと、また、それらをまとめて発表、発信することなど、研究活動全体を通して、教員の資質向上を図り、大阪市立幼稚園の教育の質の向上を目指します。</p> <p>2. 継続研究（2年目）</p> <p>3. 継続研究（3年目）</p>						